

# 平成24年度豊明市障害者地域自立支援協議会 議事の要旨

平成25年3月25日（月）

午後1時30分～3時

豊明市商工会 第1会議室

## 議 事

### 1 委嘱状交付

市長代理（副市長）から委員を代表し新井宏幸委員へ委嘱状を交付。

### 2 副市長あいさつ

### 3 議 題

（1）障害者相談支援事業の現状について 資料1

事務局より資料1に基づき説明する。

（2）各部会報告について 資料2

事務局より資料2に基づき説明する。

（3）法律改正にともなう今後の支援等について 資料3

（4）その他

- ・日下部委員（ハローワーク）より、障害者就労相談の状況について追加説明。
- ・障害児の通所支援サービスが児童福祉課に移管され、児童福祉課の業務になるため、児童福祉課が事務局に加わる旨を事務局から説明。委員から了承を得る。

### 【質疑応答】

辰野委員から：資料の中で「障がい」「障害」と混在するのはなぜか。

→法律や事業所名などで規定されているものは漢字表記、そうでないものはひらがな表記と使い分けている（事務局）

高橋委員から：計画相談支援によりプランを立てたとしても、支援の受け皿がないと利用ができない事態になるのではないか。

→支援の要望を100%叶えることは難しいかもしれないが、市内にとどまらず市外の事業所を含め利用する形なら現状でもおおむね対応が可能である。（事務局）

三浦委員から：生活支援部会の開催が無いのは残念。親亡き後の暮らしの場は不足している。総合支援法施行にあたり厚生労働省から小規模入所施設など多様なあり方の整備を検討しているという情報がある。市としても国や県から整備についての要望を出してほしい。

→手をつなぐ育成会からも同意見があり、尾張東部圏域の障害福祉会議でもグループホーム整備の要望について発言した。（事務局）  
愛知県はグループホームの設置数が全国で下から2番目。国は独居の障がい者を巡回して支援する型のホームや、小規模入所施設などの様々な形で支援する方向性を打ち出している。市や団体からもあらゆる機会に要望の声を上げるべき（事務局・川上アドバイザー）

## 市長挨拶

- 1 障がい者相談支援事業の現状について 資料 1  
事務局より資料1に基づき説明する。
- 2 各部会報告について 資料 2  
事務局より資料2に基づき説明する。  
日下部委員（ハローワーク）より、各種助成金の説明および障害者就職面接会の開催状況について追加説明。
- 3 尾張東部成年後見センターについて 資料 3  
事務局（尾張東部成年後見センター鷲野氏）より資料 3に基づき説明する。
- 4 法律改正にともなう今後の支援等について 資料 4  
事務局より資料 4に基づき説明する。  
法改正による、より一層の地域移行支援の推進や相談支援事業の強化に対応するため、専門部会の相談支援部会設置を提案。（事務局）  
→ 委員協議により承認。

出席委員 新井宏幸 委員、兼子忠男 委員、川上智宏 委員、日下部好彦 委員  
近藤 二 委員、佐々木信富 委員、鈴木智宏 委員、住田敦子 委員  
高橋清二 委員、早川 要 委員、三浦美智子 委員、三好順子 委員

欠席委員 阿野了明 委員、藤田 潔 委  
傍 聴 なし